

「今後の高等学校教育の基本的方向」での校舎制について

○ 校舎制のイメージ

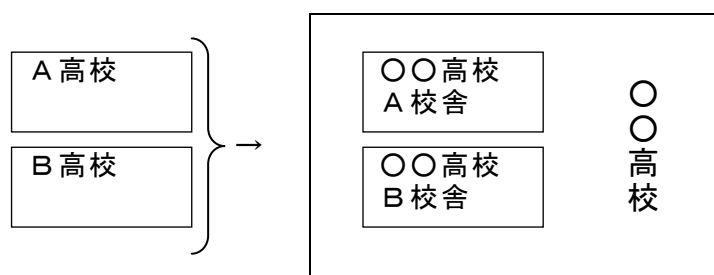
「校舎制」とは、学校運営においての統一した基本方針のもとに、複数の校舎を使用し、1つの学校として機能させるものです。

大学で言う「〇〇キャンパス」に相当し、校歌、校章、制服等も1つの学校として共通のものとなります。

「校舎制」では、学校の基本である授業はそれぞれの校舎で行い、教員が必要に応じて校舎を移動して行う「校舎毎の授業」と、生徒が移動して授業を合同で実施することにより、多様な交流機会や社会体験の場を広げる「複数の校舎の合同学習」を効果的に組み合わせていきます。

学校の再編・統合に当たり施設・設備の移設が難しいような場合、このような制度の導入により、小規模校の課題の解消を図ることを想定しています。

(校舎間に上下関係はありません。)



○ 校舎制の事例

山口県大津緑洋高等学校

- 所在地 山口県長門市 大津校舎 日置校舎 水産校舎

(日置校舎～車約20分～大津校舎～車約5分～水産校舎)

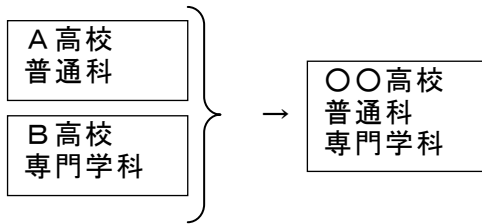
- 平成23年4月 大津高校、日置農業高校、水産高校が統合して誕生。
- 学科等

大津校舎	普通科	3学級
日置校舎	生物生産科	1学級 (生物資源コース、園芸活用コース)
	生活科学科	1学級 (生活福祉コース、食品文化コース)
水産校舎	海洋技術科	1学級 (航海コース、機関コース)
	海洋科学科	1学級 (マリナビオコース、マリフードコース)

- 教員の配置等
校長1名。副校長3名は各校舎に配置。芸術等の科目を中心に教員が各校舎を移動して授業を実施。
- 部活動
部活動は、校舎毎に設置されており、他校舎に設置されている部活動にも加入可能。
キャンパス間の移動にはバスを運行
- 各校舎での合同学校行事等
三校舎合同学習発表会、実習船海友丸の体験航海、農業体験等

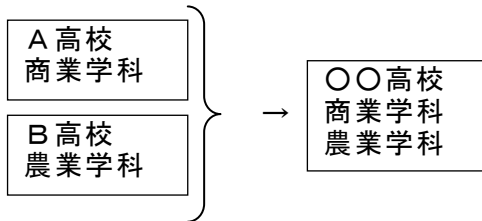
【参考1】 学校統合のイメージ

- 普通科高校と専門学科高校の統合
→ 普通科、専門学科併置高校へ



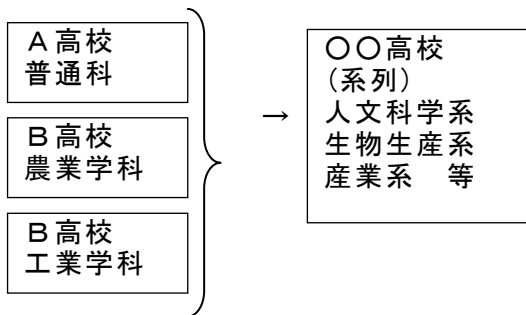
- ・ 普通科、専門学科相互の教職員の交流により、視野を広げた教育活動が展開。
- ・ 普通科の就職希望の生徒が、専門学科の求人情報を活用、専門学科の生徒が進学に向けた課外授業に参加するといったことが可能となり、進路選択の幅は広がる。

- 専門学科高校同士の統合
→ 総合的な専門学科高校へ



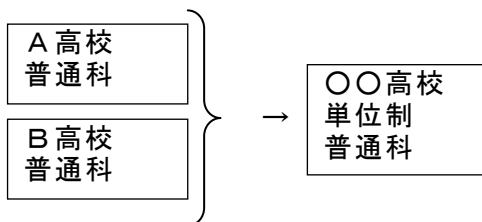
- ・ 単科での設置時と比較し、進路選択の幅が広がっている。
- ・ 他学科の科目選択により、幅広い知識の習得につながっている。

- 普通科高校と専門学科高校、又は、専門学科高校同士
→ 総合学科高校へ



- ・ 必修科目の「産業社会と人間」の履修を通じて、将来の進路選択に真剣に取り組み、系列を選択している。
- ・ アンケート等で、生徒保護者の評価は高い学校。

- 普通科高校同士の統合
→ 単位制普通科高校へ



- ・ 一般的な学年制と異なり、単位制高校では、選択科目が多く、学年を越えて学ぶことが可能。
- ・ 多様な選択科目が設けられ、少人数授業が多いことが特徴であり、生徒一人一人の個性を伸ばしやすい。

【参考2】 県立高等学校の形態

<教育課程の形態等(例)>

◆ 普通高校

普通教育を主とする普通科高校。(学級単位で専門科目を学べるコースを設けている学校もある。)

《盛岡第一高校、盛岡第二高校 等》

◆ 総合選択制高校

普通科にいくつかの「学系」を設け、生徒が自分の興味・関心、進路希望に応じて各学系に入学し学習するとともに、必要に応じて他の学系の教科・科目も選択できるなど幅広く学習できる普通高校。

《不来方高校、花巻南高校》

◆ 総合学科高校

進路に応じる複数の「系列」があり、2年次から「系列」や普通教科と専門教科のどちらも選択でき、総合的に学ぶことができる単位制高校。

《紫波総合高校、北上翔南高校、岩谷堂高校、一関第二高校、久慈東高校、一戸高校》

◆ 専門高校

農業、工業、商業、水産、家庭等の専門教科を主として学ぶ専門学科高校。

《盛岡農業高校、盛岡工業高校 等》

◆ 総合的な専門高校

複数の専門学科を併設し、所属する学科の科目以外に、関連する他の専門分野の教科・科目を併せて履修することができる専門高校。《花北青雲高校、大船渡東高校、釜石商工高校》

◆ 定時制課程・通信制課程

定時制課程は、夜間又は特別な時間帯等に授業を行なう課程。通信制課程は、通信の方法により高校教育を行う課程。

《宮古高校定時制課程、杜陵高校通信制課程 等》

◆ 多部制・単位制高校

午前から夜間にいたる特定の時間帯で授業を行なう課程(部)を複数組み合わせ設置し、生徒がいずれかの時間帯に所属して学ぶことができる単位制の定時制高校。《杜陵高校、杜陵高校奥州校、久慈高校長内校》

◆ 中高一貫教育校

中学校と高校の課程を調整し、一貫性を持たせた体系的な教育方式を行っている学校。《併設型：一関第一高校附属中学校、連携型：葛巻地区、軽米地区》

普通高校	必修		選択
	普通教科・科目		芸術等

* 普通科、理数科、体育科を含む。 ※コース制は、必修に特定の専門科目が含まれる。

総合選択制高校	学系	必修		選択	
		共通	学系内	学系内	自由
	人文理数	普通教科・科目	普通教科・科目	専門科目	他の学系の科目、普通専門科目
	芸術	〃	〃	〃	
	外国語	〃	〃	〃	
体育	〃	〃	〃		

総合学科高校	系列	必修	選択	
		普通教科・科目	系列選択科目	自由選択科目
人文科学 自然科学 生活・福祉 情報・経済 環境緑化 海洋科学 等	普通教科・科目 原則履修 ・産業社会と人間	人文→地理A等 自然→数学Ⅲ等 生活→服飾手芸等 情報→簿記等 環境→草花等 海洋→漁船運用等	古典講読 倫理 ダンス クラフトデザイン 音楽理論 生活の書 他多数	

専門高校	必修		選択
	普通教科・科目	専門科目	専門科目・芸術等

総合的な専門高校	学科	必修		選択	
	農業	普通教科 ・科目	農業科目	他分野の 専門科目	芸術等
	工業		工業科目		
	商業		商業科目		

定時制課程	(夜間又は特別な時間帯等に授業)	夜間
		17時～21時

* 時間帯を長くして、科目を多く設定し、履修させることにより3年で卒業可能な学校がある。

通信制課程	レポート(自宅学習)主体、スクーリング(面接指導)、試験で単位取得
-------	-----------------------------------

多部制・単位制高校	午前部	午後部	夜間部
	9時～13時	13時～17時	17時～21時

* 特定の時間帯を複数設置、単位制で生徒一人ひとりが時間割を決められる。

* 所属する部以外の部の科目を履修することで、3年で卒業も可能。

併設型中高一貫教育校	(選抜)	中学校	(無選抜)	高等学校
------------	------	-----	-------	------

* 中学校の設置形態の違いにより、同一学校型(中等教育学校)、併設型、連携型の3種類がある。

* この他に普通科と職業に関する専門学科との併置校もあります。